

ウィルかわら版 will

平成二二年
二月
月号

第七号

編集 吉澤 隆
協力 内田和也
(株吉澤企画)

気がつくともう二月。今年ももう残りあと十一月です。年頭に「今年はこんな年にしよう！」と神仏に手を合わせた方は多いと思いますが、この一月月でその思いは実現に近づきましたか？私は、針路修正の二月です。

先月告知をしました、『家族葬

セミナー』を2月6日に開催いたしました。お葬式に関する内容については聞きたい人ばかりじゃないと思いますので今回は細かい内容は割愛させていただきます。

トータル2時間ぐらいのセミナーですが、その中で気になる意見がありました。

今月はその件についてお話しさせていただきます。

「妻や子供に負担や迷惑をかけたくないので、私の葬儀はやらなくて良い。」

このところ、相談の仕事をしていると、こういった声をよく耳

にします。

自分が亡きあとの家族を思いやるご主人の姿が、そこにはあるのだと思います。

わたしたちの仕事は、ただお葬式をお手伝いするだけでなく、事前のご相談から、心身の疲れているご遺族に寄り添うところまでが役割だと考えています。

その中で見てきた「遺族の視点」からこの話を見たとき、割り切れないものがあるように感じています。

突然訪れる慌しい葬儀のなかでも、お世話になった故人に対して、お礼を言ったり、手をかけお返しをしたりするためには

ゆつくりゆつたりとした時間と空間が必要なのだと感じています。でもそういったチャンスが火葬されてしまう以前に与えられなかったことを、とても残念に感じているというご家族のお話を伺ったことがあります。

また、周囲の方からご家族が「何で葬儀を出してあげなかったの」などと問われている場面に立ち会ったこともありました。全て終わった後から言われるその軽い一言は、ご家族にとって負担になりやすいようです。

いやいや、葬儀をやらないと大変なことが起こるぞ！と脅かしてやるわけじゃないですよ！（笑）それに人それぞれの選択があつて良いと思っています。

何が言いたいかというと、相手のための配慮のほすが、時に思い通りに伝わらないことがある

ということですが、

逆にあなたが、奥さん(ご主人)や子供さんから「わたしの葬儀はやらなくてね」と言われたらどう思うでしょう？その視点からも検討してみると良いと思います。

葬儀をしない、というのも一つの選択肢だと思えますが、本来の目的を反映させるためには、事前の根回しと、相手の視点に立った計画が大事なようです。



大宮駅前のお掃除、一緒にやりませんか！就職、転職に向けたトレーニングにもなりますよ！←ぜび！！

～ウィル2・3月の行事予定～

- 2/18 6:00～新宿東口駅前街頭清掃
- 2/25 6:00～大宮駅西口駅前街頭清掃
- 3/3 19:00～東京建設的な生き方を学ぶ会 (大森、東西(株))
- 3/9 18:30～さいたま建設的な生き方を学ぶ会 (大宮、ウィル)
- 3/18 6:00～新宿歌舞伎町街頭清掃
- 3/25 6:00～大宮駅西口駅前街頭清掃
- 3/27.28 CL (建設的な生き方) セミナー (山中湖)



お気軽にお問い合わせください！

★ <http://www.will-saitama.jp> ★

ウィルさいたま012017971739

★緊急のお願いです★

今月は皆さんにお願いがあります。たった今、ガンと懸命に闘っている『高遠翼（たかとおりつばさ）君』に千羽鶴を送ってあげたいと思っています。そこで折り鶴と一緒に折って頂きたいのです。

私達のサロンにも置かせていただいている「わたしの家の戦士と天使」ですが、そのお話の当人である翼くんの容態が、だいぶ辛そうになって来ていると言うお話を伺いました。



是非皆さんの手と心をお借りして、翼君を元気づけてあげましょう！



以前、弊社の記念講演の際に

私の師匠の杉井保之先生からもご紹介がありました。が、「馬淵さん」という方が、ガンで重体になったときに、みんなで鶴を折ったことがあるのです。その時は、残念ながら馬淵さんが元気なうちにお渡しすることが出来ませんでした。しかし、想いに賛同して下さいました。全国の方から一万羽を超える鶴が集まり、故人の棺に添えられ、ご家族を励ますこととなったようです。

実はそのとき、私は「馬淵さん」のことを、名前を聞いた程度でしか知りませんでした。顔もろくに知らないわたしが鶴を折っても、相手はどう思うのだろうか？とか、やさしい気持ちになつていくわけではないのに頼まれたから鶴を折ると言うのでは、相手に申し訳ない。などと、やらないうちにいろんなことを考えました。

ただ、誘われるがままに、家族や会社の人たちと折り鶴と一緒に折ってみると、想像もしない事が起こりました。

相手の事を知らなくても、病気と闘っている馬淵さんの事を想像して、鶴を折るたびに「元気になつて欲しい」とか応援したい気持ちが湧いてきました。

知らない誰かのために家族や社員が一緒になつて鶴を折っていると、その時家庭や会社やさしい雰囲気生まれました。

翼君のお陰でやさしい気持ち広がったら、きっと翼君も喜んでくれると思います。是非、ご家族、職場、ご友人に声を掛けて、想いの輪を広げてみてください！

出来るだけ、7.5cm×7.5cmの折り紙を使用して、鶴の首は折らないでいただけると、紐でつなぐときに助かります。普通

サイズの折り紙（15×15cm）なら、四つに切るとちょうどそのサイズになります。

よかつたら同封の封筒に詰めてご返送ください。

ちなみに住所は〒330-0852 さいたま市大宮区大成町1-405 「ウイルさいたま」までお願いします。

翼君の容態のこともあるので第一回の締め切りは、急で済みませんが2月12日ウイル着か13日オリジナル着でお願いします。吉澤が責任を持ってお届けいたします。

どうしても間に合わないという方は第二便を20日（水）に設けますのでお願いします。

馬淵君のときを越える、千羽鶴で、翼君を驚かせてあげましょう！

